



J Aレーク伊吹 経済部 営農企画課
TEL 0749-63-2101 FAX 0749-64-2085

今月の話題

- ◆ 営農担当者の資質向上に向けての取組みについて紹介
- ◆ 需要に応じた米の生産をしましょう
- ◆ 水田活用米穀で交付金を活用し生産調整をしましょう
- ◆ JAの購買予約商品などの配送について
- ◆ 農政ダイジェスト

メモ

- ✓ JA水稲生産資材注文
1月15日まで
- ✓ J Aバンク滋賀 農業融資応援プラン継続！
申込期間 令和3年1月4日～12月30日
- ✓ 環境こだわり申請聞き取り日程
【長浜管内】 【米原・近江管内】
日時：1/14・1/15 日時：1/21・本店 1階 会議室
場所：長浜南支店 1/22・米原支店
- ✓ 免税軽油受付開始
令和3年1月18日から
滋賀県東北部県税事務所
長浜市平方町1152-2
0749-65-6608



お早めに！



旧年中はお世話になりありがとうございました。
新型コロナウイルス感染症の終息を願うとともに皆様のご健康とご多幸をお祈り申し上げます。
本年もよろしく願いいたします。

営農担当者の資質向上に向けての取組みについて紹介

第7回 営農事業活性化チャレンジプラン 成果発表大会

J Aレーク伊吹では、営農事業に携わる職員が、テーマや課題を明確化した上で、1年間プランに取り組んだ成果を発表し合い、営農指導事業・職員の資質向上と情報・課題を共有化することで、営農指導の活性化を図ることを目的として毎年取り組んでいます。今年は10名の発表がありましたので、ご紹介させていただきます。

取組課題の紹介

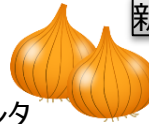
最優秀賞



里芋栽培の機械の利用による労力低減と規模拡大の可能性について検証

里芋栽培の労力軽減のためにJAのレンタル農機や補助事業を利用し、規模拡大や農家所得向上について検証を行う。

伊吹・山東・柏原地域 営農経済渉外



新型コロナウイルスが及ぼす農業への影響

新型コロナウイルスが農業に与えた影響を調べるなかでタマネギ生産者の方の思いを聞き取り、日本の食を支える農業を今後JAがどのように支えるのかを考える。

長浜南・近江・米原地域 営農経済渉外

新規作物の取組と検証



花が咲く作物「ディル」「ナスたちウム」「セロリ」の栽培を行い、今後新たに取組める作物か検証を行う。

長浜北・長浜東地域 営農経済渉外



優秀賞

集合研修及び集落別農談会に代わる個別提案活動と、営農指導上の取組評価・自己分析

新型コロナウイルスの影響により農談会の中止が相次ぐ中で、“うまい米づくり通信”の発行や生育確認、小学校への出前授業を行い、営農指導のあり方を考察する。

長浜南支店 営農担当

優秀賞



経営基盤安定に向けて収入保険制度の普及・推進を行う

今後の農業経営において収入減少のリスクを減らすために収入保険の未加入先への普及、推進を行い、経営安定を図る。

米原地域 TAC

伊吹そばの種子確保に向けて



山東地域で栽培が拡大傾向にある、在来種「伊吹そば」の種子確保に向けた取組みとJAとして課題解決に向けて何ができるか考察する。

山東支店 営農担当

土壌改良資材・湛水管理の重要性



土壌改良資材によるカドミウム吸収抑制の効果を測定器を使い数値化し、営農指導をするうえで出穂前後の湛水管理と合わせて重要性を周知する。

米原支店 営農担当

水稻・麦の単収増に向けた資材提案と土づくりの実証



水稻・麦の収量を上げるため、肥料の提案、比較試験を行い、収量の増加を目指す。

長浜地域 T A C

かぼちゃ生産規模拡大を目指した販売経路の策定



新規販路を設け、既存取引先との評価検証を行い、今後の生産者手取り増大を目指した販路・出荷方法の確立を目指す。

特産振興課

学校給食向け青果の品質向上



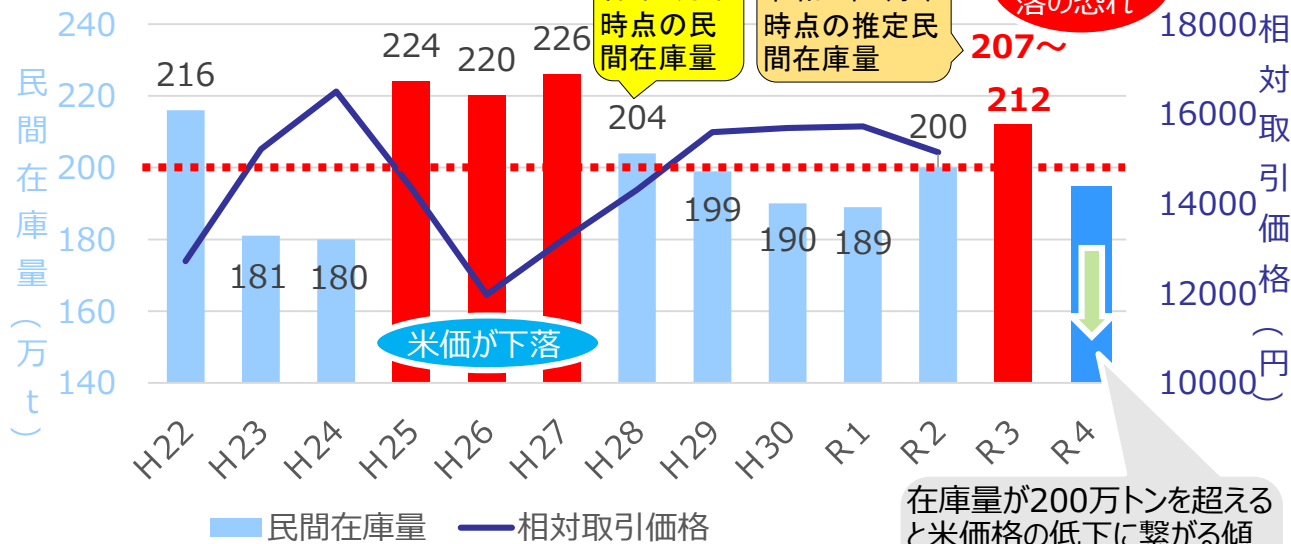
入札から生産調整・発注・納品まで一括して担当し、様々な問題点に直面したため、原因を洗い出し改善、解決を目指す。

特産振興課

需要に応じた米の生産をしましょう

令和元年7月から令和2年6月までの全国の主食用米の需要実績は前年と比較し、20万トン減少し、さらに、新型コロナの影響のため需要が減少しています。

相対取引価格と民間在庫の推移



- 民間在庫量と米価の関係
米価は、6月末在庫量と相関しています。

- ✓ 在庫量が増えると、米価が下がる
- ✓ 在庫量が減れば、米価が上がる

価格は需給で決まります！

在庫量が200万トンを超えると米価格の低下に繋がる傾向にあります。令和3年産で需給調整し、適正な在庫量にしなければなりません。

消費量が減少傾向のため、需要に応じた米の生産が必要です。今後も水田フル活用による生産調整が必要です。

水田活用米穀で交付金を活用し生産調整をしましょう

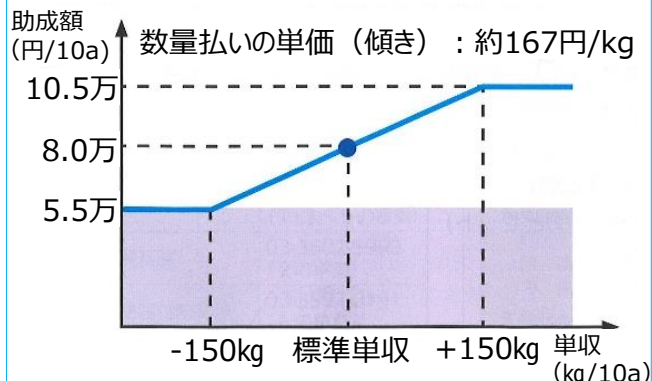
経営所得安定対策等では、畑作物や非主食用米への転換を推進するため、作付・出荷された作物に対して交付金が設定されています。令和3年産に向けて、国も支援を拡充しています。交付金を活用し生産調整を行いましょう。

水田活用の直接支払交付金

対象作物	交付単価	おすすめ品種
加工用米	2.0万円/10a	日本晴
輸出用米		
飼料用米	収量に応じ、5.5万円~10.5万円/10a	吟おうみ

多収性の品種です

● 飼料用米と交付単価の関係



収量が多いほど交付金が高くなります

カントリーエレベーターでの荷受品種

	伊吹	近江	長浜	神照
日本晴		●	●	
飼料用米	●			●

吟おうみの苗も、JAより供給をしていますのでご利用をお願いします。



取り組みについてはお気軽に営農経済渉外までご相談ください。

令和3年1月の配送

- 土づくり資材
 - ✓ 1月随時配送（1月配送希望者）
 - ・ 配送日を指定されている方は配送希望日に配送します。
 - ・ 委託散布については、3月に散布予定です。
- 育苗培土
 - ✓ 1月18日～22日頃の配送予定です。
- 麦の追肥（化成肥料201）
 - ✓ 12月より配送しています。
 - ✓ 赤カビ防除剤（ワークアップ等）については、3月末の配送予定です。
- 水稻基肥資材
 - ✓ 2月1日より配送予定です。



など



など

お願い

上記の資材について、順次配送を計画していますので、配送場所の準備をお願いいたします。配送日時・配送場所の希望がありましたら、お気軽に連絡をお願いします。



ひと月の動き

農政ダイジェスト

農業・地域の雑誌「地上」より抜粋

～定価（税込）618円 購読申込受付中～

連携して国産小麦の利用拡大を

J A全農は、長年取引してきた㈱日清製粉グループ本社（東京都）と業務提携契約を結んだと発表した。安定調達などを実現したいと、輸入・国産小麦のいずれも扱う同社から打診。国産への切り替えなど需要を拡大させ、同グループの販売を推進する。

企業による農地取得の全国展開に反対

自民党の農林・食料戦略調査会と農林部会は、活用が低調であることを理由に、国家戦略特区である兵庫県養父市で特例として認める一般企業の農地取得について、全国展開に反対する決議を採択した。9日には、関係閣僚にその決議を申し入れた。

格差を是正し、転作を促す

農林水産省は自民党農業基本政策検討委員会で、米の需給安定に向けた対応策を示した。2021年産米の需給均衡には、20年産の生産量に比べて6万7000haの作付け転換が必要とされる中、同省は非主食用の米や麦などへの転作支援を拡充。主食用米との手取り格差の是正を図る。

高齢化の進展で農業従事者の減少続く

農水省は20年農業センサス（2月1日時点）の調査結果を発表し、「基幹的農業従事者」が136万1000人で、前回調査から約40万人減少したことを明らかにした。高齢化が大きな要因とされ、平均年齢は67.8歳に、65歳以上の割合は69.8%に達した。

水田活用交付金の予算を恒久的に

自民党は農林合同会議で、米の需要に応じた生産対策などをいかに推し進めるか示す決議を採択した。米の需給安定をめざす対応策を農水省が示したことを踏まえて、水田活用の直接支払交付金に必要な予算を「恒久的に」確保するよう提起した。

27品目を重点に輸出に注力

30年に農林水産物や食品の輸出額を5兆円に増やすための実行戦略を決定した。日本産の強みがある牛肉や日本酒といった「重点品目」を指定し、輸出を増やす対象国・地域や目標額を品目ごとに決定。それに合わせて輸出向けの産地を個別に定め、生産体制を整え、集中的に後押しする。